

研修のお申込み

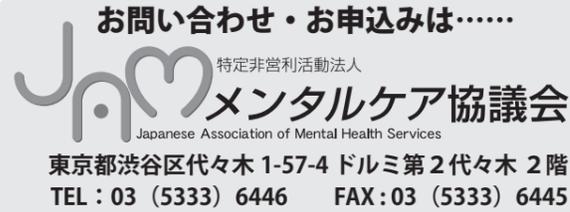
定員 30 名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せて FAX または 郵送で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記 URL よりダウンロードしてください。

http://www.npo-jam.org/rirekisho/

応募締切は 2018 年 1 月 25 日(木) 必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を 1 月 26 日までにメール (または FAX) にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。



東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2018年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン～」を平成 22 年 4 月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員 (非常勤) を育成するための研修を下記のように行います。この研修を受講できるのは、平成 30(2018) 年度から電話相談員 (非常勤) として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、平成 30(2018) 年度に相談員 (非常勤) として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎ 修了証の発行

必修項目を含む 8 単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場ご案内

講義とグループロールプレイは下記のいずれかで実施します

リロの会議室 コンフォート新宿 RoomA

東京都新宿区新宿 4-3-25 TOKYUREIT 新宿ビル 7 階

■ 新宿駅 東南口 / 南口より徒歩 2 分

全理連ビル (代々木) 9F 会議室 C

東京都渋谷区代々木 1-36-4

■ 代々木駅北口 徒歩 1 分
(1F がマクドナルドのビルです)

TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム 6C

東京都新宿区西新宿 1-14-11 日廣ビル 6F

■ 新宿駅西口 徒歩 10 分
(1F が docomo ショップ新宿西口のビルです)

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人メンタルケア協議会

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前

年齢 歳 性別 男 ・ 女

ご住所

電話番号 FAX 番号

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを)
@

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール (および添付ファイル) でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2018 年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※ 土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※ 勤務時間帯は [A]13:30 ~ 18:30, [B]18:00 ~ 22:30, [C]22:00 ~ 翌 6:00 です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■ 現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

■ 必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。
人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただき、受講票に記載してお知らせいたします。

研修内容	実施日/場所	時	必修	参加	単位	
講義	① 東京都自殺相談ダイヤルと東京都こころといのちのサポートネット～利用者の実態と、地域連携事例検討～	1/27 (土) リロの会議室 コンフォート新宿 Room A	12:30 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	② PTSD の治療と、被害者への支援	1/28 (日) リロの会議室 コンフォート新宿 Room A	13:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	③ 子どもの自殺について知る	2/ 4 (日) リロの会議室 コンフォート新宿 Room A	13:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
グループ ロール プレイ	① 自殺の相談対応	2/12 (月・祝) 全理連ビル 9F C 室	13:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	② 他機関へ繋ぐ	2/25 (日) TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム 6C 3/24 (土) 全理連ビル 9F C 室	13:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	③ 相談を受けとめる	3/21 (水・祝) TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム 6C 3/25 (日) 全理連ビル 9F C 室	13:00 ~ 18:00 13:00 ~ 18:30	必修	可・不可	1
現場 研修	① 東京夜間こころの電話相談	2/6 (火) 2/10 (土) 2/11 (日) 2/21 (水) 2/22 (木) 3/5 (月) 相談室	18:00 ~ 21:00	必修	可・不可	1
	② 精神科救急医療情報センター	2/17 (土) 2/27 (火) 2/28 (水) 3/4 (日) 相談室	18:00 ~ 21:00	選択	希望する	1
	③ 訪問看護ステーション	2/13 (火) 2/23 (金) 3/ 8 (木) 3/16 (金) ステーション訪問対象者宅	9:00 ~ 15:00	選択	希望する	1
	④ 東京ダルク	2/14 (水) 2/16 (金) 2/20 (火) 2/28 (水) 3/13 (火) 3/15 (木) 東京ダルク	水 13:00-15:30 他 10:00-12:00	選択	希望する	1

※ 東京ダルク現場研修は、タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。



研修日程

研修内容	研修テーマ	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師				
I. 基礎知識 習得のための 講義 各1単位 すべて必修	①『東京都自殺相談ダイヤルと 東京都こころといのちのサポート ネット～利用者の実態と、地域 連携事例検討～』	リロの会議室 コンフォート新宿 Room A	1/27(土)	12:30 - 13:20	開講式 講義1 自殺防止活動の実際について知る	羽藤 邦利			
			13:20 - 14:10	講義2 いのちの電話のリピーターについて	森野 嘉郎				
			14:20 - 14:30	質疑応答					
			14:30 - 17:30	講義3 こころといのちのサポートネットと地域連携事例の検討	北條 彩 みなと保健所 JAM 相談員				
			17:40 - 18:00	質疑応答					
	②『PTSD の治療と、被害者への支援』	リロの会議室 コンフォート新宿 Room A	1/28(日)	13:00- 13:50	講義1 PTSD 治療について	西松 能子			
				14:00 - 14:10	質疑応答				
				14:10 - 14:40	講義2 PTSD 治療の症例発表①	あいクリニック 神田スタッフ 沈 靖子			
				14:40 - 14:55	質疑応答・ディスカッション				
				14:55 - 15:25	講義3 PTSD 治療の症例発表②				
				15:25 - 15:40	質疑応答・ディスカッション				
				15:50 - 16:00	質疑応答				
	16:00 - 17:40	講義4 被害者支援都民センターの取り組みと、被害者からの相談対応	被害者支援 都民センター 鶴田 信子						
	17:50 - 18:00	質疑応答							
	③『子どもの自殺について知る』	リロの会議室 コンフォート新宿 Room A	2/4(日)	13:00 - 14:50	講義1 子どもの自殺について	羽藤 邦利			
14:00 - 14:10				質疑応答					
14:10 - 16:10				講義2 自死に向かう子どものSOSをどう受け止めるか	武田 さち子				
16:20 - 16:35				質疑応答					
16:35 - 17:25				講義3 今どきの学校の現場について(仮)	(未定)				
17:35 - 18:00				ディスカッション					
II. グループ ロール プレイ 各1単位 すべて必修	①自殺の相談対応 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/12(月・祝) 全理連ビル 9FC 室	13:00 - 18:00		大下 隆司 西村 由紀				
					②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	TKP 新宿カフアルセンター 6C 3/24(土) 全理連ビル 9FC 室	13:00 - 18:00	※ 2/25,3/24 のどちらか一日に参加	荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀
									③相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)
18:00 - 18:30	閉講式	羽藤 邦利							
III. 現場研修 各1単位 ①は必修、 ②～④は 選択	①東京夜間こころの電話相談	2/ 6(火) 2/10(土) 2/11(日) 2/21(水) 2/22(木) 3/ 5(月)	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本(レクチャー) 相談の陪席 (いずれか1日に参加)	荒井 澄子 國吉 淨子				
		②東京都精神科救急医療 情報センター		2/17(土) 2/27(火) 2/28(水) 3/ 4(日)	18:00 - 21:00	センター業務の説明、相談の陪席、 精神科救急対応の基本(レクチャー) (いずれか1日に参加)	救急相談員 西村・永島		
	③多摩在宅支援センター卵 (訪問看護ステーション)	2/13(火) 2/23(金) 3/ 8(木) 3/16(金)	9:00 - 15:00	訪問看護の実態について(レクチャー) 訪問の同行 (いずれか1日に参加)	寺田 悦子				
	④東京ダルク	2/14(水) 2/16(金) 2/20(火) 2/28(水) 3/13(火) 3/15(木)	(水)13:00-15:30 他 10:00-12:00	ダルクの活動について(レクチャー) 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加) ※タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。	幸田 実				
	⑤自殺相談ダイヤル	3月下旬(全4回)	13:00 - 19:00	※次年度採用予定の方のみ。	西村 由紀				
	⑥(南紀白浜)白浜レスキューネットワーク	4/1(日)		※詳細未定。次年度「自殺未遂者対応連携支援事業」採用予定の方のみ。					

※現場研修の研修場所については、1/27 に資料を配布いたします

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 平成 29 年度(2018.1～3月)

講師・団体紹介 (50音順)

荒井 澄子 (あらい・すみこ)

メンタルケア協議会理事／元南多摩保健所／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所)など。

大下 隆司 (おおしも・たかし)

メンタルケア協議会副理事長 / 代々木の森診療所 院長 / 神戸国際大学保健センター特命教授 / 精神科医、臨床心理士。神戸大学医学部卒業。社会人経験後、医学部に入りなおし、精神科医となる。神戸大学大学院、都立墨東病院、明石土山病院、東京女子医科大学に勤務。2012年4月より代々木の森診療所院長。医学博士。

國吉 淨子 (くによし・きよこ)

メンタルケア協議会理事／元都立中部総合精神保健福祉センター／S52～東京都勤務。松沢病院。多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

幸田 実 (こうだ・みのる)

東京ダルク・ダルクホーム施設長／ダルクは薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、回復を支援する。回復していくための場、時間、回復者モデルを提供し、ナルコティクス アノニマス (NA) の12ステップに基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをし、各地の自助グループにつなげていく。

NPO 法人白浜レスキューネットワーク

自殺企図者の救済(電話相談、面談、保護)、生活自立支援、自殺予防策など多岐にわたる活動を行っている。自殺企図者の救済は、ほとんどの関わりが電話から始まり、相談電話件数は年間1000件以上あり、保護件数も年間30件を超える。保護した方々とは共同生活を通して問題解決(自己破産や就職活動、心身の回復)と自立を支援している。また、人が自殺に至らない社会づくり、人づくりを目指して、様々なボランティア活動にも積極的に参加。

末松 涉 (すえまつ・わたる)

東京いのちの電話研修委員長／東京都スクールカウンセラー／国際交流分析協会公認交流分析家・準教授資格(心理療法部門)／清泉女子大学非常勤講師／臨床心理士。一般企業勤務後、東京都立高校教諭、東京いのちの電話で訓練ディレクター・事務局長として活動後、大学教員(専門分野：臨床心理学、コミュニティ心理学、心理療法)。現在は、私設研究所を開いて、心理面接、地域社会支援活動団体のスーパーバイザー・アドバイザー、地域社会支援(精神障害者の社会復帰プログラム)などに関わっている。

武田 さち子 (たけだ・さちこ)

全国柔道事故被害者の会 アドバイザー／子ども的人権研究会会員／足立区いじめに関する調査委員会 委員(元)／長崎市学校問題外部調査委員会 委員(元)／世界子ども通信「ブラッサ」編集員(元)／三多摩「学校・職場のいじめホットライン」実行委員(元：1997-2006年)

教育評論家。海外や日本の子どもの人権に関する草の根の活動を行う。ウェブサイト「日本の子どもたち」(http://www.jca.apc.org/praca/takeda/) 主宰。

寺田 悦子 (てらだ・えつこ)

NPO 法人多摩在宅支援センター円(えん)理事長／当法人は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに応えているのが特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション卵、訪問看護ステーション元(げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連(れん)がある。

内藤 武 (ないとう・たけし)

メンタルケア協議会理事／元立教大学学生相談所インテーカー／「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中(H3年～H4年)「Samaritans(自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

永島 章子 (ながしま・あきこ)

メンタルケア協議会電話相談員

西松 能子 (にしまつ・よしこ)

あいクリニック神田理事長／あいクリニック神田分院院長／立正大学心理学部心理学研究科教授／精神科医、臨床心理士。大阪医科大学医学部卒業。公德会佐藤病院精神科医長、日本医科大学附属千葉北総病院神経科部長、コーネル大学医学部ウェストチェスター部門客員教授を経て2003年9月あいクリニック神田を開設。2006年4月立正大学 心理学部 臨床心理学科 教授に就任。専門は女性のうつ病および身体表現性障害の治療。

西村 由紀 (にしむら・ゆき)

メンタルケア協議会理事／メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤルの立ち上げに携わる。

羽藤 邦利 (はとう・くにとし)

メンタルケア協議会理事長／S42 京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58 代々木の森診療所開設。H2年1月より代々木の森診療所院長。H24年4月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

公益社団法人 被害者支援都民センター

犯罪や交通事故の被害者とその遺族に対して、精神的支援その他各種支援活動を行うとともに社会全体の被害者支援意識の高揚を図り、被害者等の被害の軽減及び回復に資することを目的として設立された法人で、平成14年5月24日、日本で初めて東京都公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受け、さらに、平成22年8月27日、東京都知事から「公益社団法人」の認定を受けた。

北條 彩 (ほうじょう・あや)

メンタルケア協議会理事／成増厚生病院／精神科医。虎の門病院、都立多摩総合医療センターを経て現職。保健所の事例検討会のスーパーバイズ、母子保健における相談業務、都立高校の専門医派遣事業など行っている。

みなと保健所

港区の自殺対策は、みなと保健所健康推進課地域保健係が担っている。平成26年9月に「港区自殺対策基本計画」を策定し、総合的な自殺対策推進事業を展開。その一環として平成27年8月に港区民で自殺未遂をした人やその家族に対して寄り添い型の支援を行う「港区いのちのサポート相談」を開始した。その他「自死遺族のつどい」や「港区こころの健康講演会・総合相談会」などを開催している。

森野 嘉郎 (もり の ・ よしろう)

メンタルケア協議会理事／日本いのちの電話連盟常務理事・事務局長／東京パーソナル法律事務所所長／弁護士。日本での「いのちの電話」の活動は、ドイツ人宣教師ルツ・ヘットカン普女史を中心として準備され、1971年10月日本で初めてボランティア相談員による電話相談が東京で開始された。1977年、「日本いのちの電話連盟」として組織化し、2016年現在、連盟加盟センターは49センター、分室を含め電話相談を実施している都市は約60ヶ所、活動相談員約6500名と組織を拡充を続けている。＊2015年相談件数 704,904件

※ 修了証の発行
全11単位のうち、必須項目を含む8単位以上を受講した方に、修了証を発行します。